

## 上間ゆかりさんのコメント

改めて見学会の映像をみて思い出したのですが、再興事業で白生地を制作するにあたり那覇市歴史博物館にて「空色地貝藻紅葉松葉木目文様紅型木綿袴衣裳」を紅型制作の方々と熟覧させて頂いた時、密度の高い（28-29本/1cm）綿布でしたが、今回沖縄県立博物館で拝見した紅型衣裳と同じく、しなやかな印象を持ちました。

「柔らかい」ではなく「しなやかな」です。

見学会の時に、砧打ちをしていたのでは、とお伝えしましたが、どちらも実際に着用していたのであれば、着ている間にしなやかな風合いの質感になったのかもしれないですね。